

希望 輝き 絆

# 21・老福連 第13回職員研究交流集会

きづき きらめき

感謝 感激 感動



人間らしく「生きる」ために  
今こそ輝かせよう ほんまの社会福祉

～高めよう 私たちの 援助実践 広げよう 新しい 福祉の8K～

## 開催要綱



日時

2013年 12月7日(土)～9日(月)

会場

12月7日・9日 立命館大学・朱雀キャンパス / 8日 佛教大学・紫野キャンパス

参加費

3日間 10,000円 2日間 8,000円 1日間 6,000円  
1日目夜 夕食交流会 9,000円

主催

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会(略称=21・老福連)

後援

京都府 京都市 社会福祉法人 京都府社会福祉協議会  
社会福祉法人 京都市社会福祉協議会 一般社団法人 京都市老人福祉施設協議会  
一般社団法人 京都社会福祉士会 一般社団法人 京都府介護福祉士会  
公益財団法人 京都新聞社会福祉事業団 公益社団法人 認知症の人と家族の会

## 参加の呼びかけ

### 全国の老人福祉施設関係者のみなさん

私たち「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」(略称:21・老福連)は、実践交流と連携を目的とした老人福祉施設の連絡組織として、2001年3月に発足いたしました。

発足にあたって、

- ① 介護保険の混乱と矛盾から高齢者を守る立場で、公的福祉の確立をめざすとともに、真の高齢者福祉、介護保障のあり方について実践も含めた意見交換を活発に行う
- ② 高齢者主体の援助実践、ケアの質、暮らしの内容を豊かにするため、「職員研究交流集会」を開催する
- ③ 老人福祉の向上をめざす活動、社会保障を守る活動などを諸団体と共同、連携し、積極的に進める

これらを目的に掲げ、毎年「実践・交流・連携」を重ねてきました。

実質マイナスの2012年度介護報酬改定を受け、高齢者の暮らしや介護施設・事業所の運営は困難を深めています。追い討ちをかけるように「税と社会保障の一体改革」による消費税の値上げや介護保険の改定などが予定されています。そんな今だからこそ、社会保障・社会福祉はどうあるべきかを今年の集会でも考えていきたいと思えます。多くの高齢者福祉に携わる全国の仲間が希望をもちより、元気を持ち帰れる職員研究交流集会となるよう多くの方々のご参加を、歴史と伝統と進歩の街・京都にてお待ちしております。

## 日時

2013年12月7日(土) 13:00~17:30 ※夕食交流会 19:00~21:00  
8日(日) 9:00~16:00  
9日(月) 9:00~12:20

## 会場

12月7日・9日 全体会 立命館大学(朱雀キャンパス)  
8日 分科会 佛教大学(紫野キャンパス)  
7日夜 夕食交流会 京都国際ホテル

## 参加費

3日間 10,000円 2日間 8,000円 1日間 6,000円  
1日目夜 夕食交流会 9,000円

## 主催

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会(略称21・老福連)

Tel 06-6770-1600 Fax 06-6770-1611

E-mail [roufuku@siren.ocn.ne.jp](mailto:roufuku@siren.ocn.ne.jp) <http://www.roufukuren.jp/>

➤ お問い合わせ先 ◇現地実行委員会事務局◇

社会福祉法人七野会 特別養護老人ホーム 原谷こぶしの里(担当:介山)

Tel 075-463-4888 Fax 075-464-8415 E-mail [kobushi@nananokai.com](mailto:kobushi@nananokai.com)

## 申込方法

別紙、名鉄観光からのご案内文書をご確認の上、「参加申込用紙」に必要事項をご記入いただき、FAXにて名鉄観光にお申込ください。

★ 参加申込締切 10月7日(月) ★

申込受付後、11月中旬より名鉄観光から、参加確認書(参加券・宿泊利用券など)と請求書・振込依頼書をお送りいたします。

## テーマ

人間らしく「生きる」ために 今こそ輝かせよう ほんまの社会福祉  
～高めよう私たちの援助実践 広げよう新しい福祉の8K～

## 目的

見直しのたびに引き上げられる介護保険料。介護報酬も実質マイナス改定で、高齢者のくらしも介護施設・事業所の運営や職員の生活も大変。この上に、消費税が上げられたら一体どうなるの…？

日本国憲法で保障された生存権を実現する、真の社会福祉はどうあるべきか。  
福祉・介護職員が生きいきと働ける職場をどのようにつくるか。  
全国から実践を持ち寄り、交流し、考えあいます。

## プログラム

### 1日目 12月7日(土) 《全体会》

12:00～	受付開始
13:00～ 13:10	歓迎セレモニー
13:10～ 13:30	開会挨拶・オリエンテーション
13:30～ 14:00	基調報告 21・老福連 事務局長 正森 克也氏
14:00～ 15:30	記念講演Ⅰ「認知症を生きる人たちから見た地域包括ケアとは」 講師 京都府立洛南病院 医師 森 俊夫氏
	(休憩)
15:40～ 17:30	シンポジウム「私たちの地域包括ケアシステム」 コーディネーター 21・老福連 代表幹事 廣末 利弥氏 発題予定 ○買い物支援を通して高齢者の暮らしを支える女子学生の活動 ○24時間365日の見守りと安心を提供するLSAと社会福祉法人の役割 ○地域に根付き、総合的なサービス提供により福祉ニーズにこたえる社会福祉法人の役割
17:30	終了

### 《交流会》

19:00～ 21:00	豪華な料理と美味しいお酒に舌鼓を打ちながら、交流を深めましょう。 見て・聞いて・参加して……楽しい催しを企画しています。
-----------------	---

### 2日目 12月8日(日) 《分科会》

8:30～	受付開始
9:00～ 16:00	10分科会・20分散会 日頃の熱いとりくみを報告し意見交換して、私たちの思いや誇りを確認しましょう。

### 3日目 12月9日(月) 《全体会》

8:30～	受付開始
9:00～ 10:20	記念講演Ⅱ「税と社会保障の一体改革と介護保険制度」 講師 立命館大学産業社会学部 教授 唐鎌 直義氏
	(休憩)
10:30～ 12:00	記念講演Ⅲ「家族の立場から願う ホンマの介護保険制度をつくるために」 講師 認知症の人と家族の会 副代表理事 勝田 登志子氏
12:00～ 12:20	閉会式・次回開催地挨拶

## ● 基調報告

7日(土) 13:30~14:00

21・老福連 事務局長 正森 克也氏

2015年度介護報酬改定へ向けての検討がすすめられています。軽度者の保険給付からの除外、ケアマネの有料化、一定以上の所得のある人の利用料1割負担を2割・3割に、特別養護老人ホーム多床室の居住費徴収などがあげられています。社会福祉法人がどのように真価を発揮していくのか問われています。人間の尊厳を守る真の社会福祉はどうあるべきか、一緒に考えてまいりましょう。

## ● 記念講演Ⅰ

7日(土) 14:00~15:30

「認知症を生きる人たちから見た地域包括ケアとは」 講師 京都府立洛南病院 医師 森 俊夫氏

2012年 約1,000人が「京都式認知症ケアを考えるつどい」に集まり、2012・京都文書はその約1,000人の拍手で採択され、京都の認知症ケアの確立に向け一歩を踏み出しました。京都で取り組むこれらの実践について学び、認知症ケアと地域包括ケアのあるべき姿を考えてみましょう。

## ● シンポジウム

7日(土) 15:40~17:30

「私たちの地域包括ケアシステム」

コーディネーター 21・老福連 代表幹事(社会福祉法人七野会 理事長) 廣末 利弥氏

シンポジスト 《買い物支援をとおして高齢者の暮らしを支える女子学生の活動》  
《24時間365日の見守りと安心を提供するLSAと社会福祉法人の役割》  
《地域に根付き、総合的なサービス提供により福祉ニーズに答える社会福祉法人の活動》

これからの高齢者福祉の姿として2007年に導入された「地域包括ケアシステム」。住み慣れた地域で24時間、365日の安心を謳いますが実際はどうでしょうか。提唱される前から、地域に根付き、地域と共に歩み、暮らしを支えてきた福祉施設や地域の住民団体、学校など様々な取り組みがあります。今、あらためて住民目線、住民本位の「地域包括ケアシステム」のあるべき姿と、それを実現するために、社会福祉法人と特養ホームなどの福祉事業所の果たすべき役割と使命について一緒に考えたいと思います。

## ● 記念講演Ⅱ

9日(月) 9:00~10:20

「税と社会保障の一体改革と介護保険制度」

講師 立命館大学産業社会学部 教授 唐鎌 直義氏

ホンマの社会福祉を考える上で福祉財源についての学びは不可欠です。生活に直結する税の問題や社会保障の問題など、財政面の視点も含めて介護保険制度を学んでみたいと思います。

## ● 記念講演Ⅲ

9日(月) 10:30~12:00

「家族の立場から願う ホンマの介護保険制度をつくるために」

講師 認知症の人と家族の会 副代表理事 勝田 登志子氏

利用者・家族の立場から厚生労働省社会保障審議会介護給付費分科会で奮闘されている勝田氏の話聞き、今まさに介護保険制度がどうなろうとしているのか学びます。そのことから、私たちがすべきこととは何かを見つめなおすことができるはずです。

～ 分科会 ～ 8日(日) (A～J分科会)

NO	分科会名	テーマ	分科会	分散会名	座長	助言者
A (施設ケア)	施設でその人らしい暮らしを支える	その人らしい暮らしを支えることを中心に、日常生活の中での支援のあり方や個別ケアの工夫、認知症ケアの取り組み、医療と介護の連携、最期まで食べることを大切にしたり取り組みなど、現場での実践事例を持ち寄り学び合ひしよう。 ・高齢者の「その人らしい暮らし」を支える取り組み ・その人のGOALから繋がるリハビリや外出支援などの取り組み ・排泄ケアや入浴ケア、口腔ケアなどの工夫実践 ・チームケア、多職種協働による実践 ・認知症高齢者が安心して生活できる為の創意工夫の実践 ・認知症高齢者の尊厳を大切にしたりケアの取り組み ・医療と介護の連携（介護職員の特定行為）においての実践 ・医療ニーズへの対応と課題 ・感染症予防対策の取り組み ・皮膚ケアの充実、褥瘡予防の取り組み ・生活の延長にある看取りケアの実践 ・最期まで食べる事を大切にしたり実践 ・嚥下障害や食欲不振、認知症による摂取量低下等への栄養改善の取り組み ・栄養ケアマネジメントの取り組み ・調理現場における個別対応と調理の工夫 ・サービス機関との連携、地域資源の活用	A-1	豊かな日常を支える ①	東京 みやま大樹の苑 施設長 福田 瑞恵 福島 おおつき 施設長 榎副部長 寺崎 友恵	群馬 誠の園 施設長 山口 千春
			A-2	豊かな日常を支える ②	群馬 エンジェルホーム 施設長 若林 毅	愛知 シルババーピアかりや 施設長 早川 昌宏
			A-3	重度化した高齢者への対応 (医療と介護の連携・看取り 等)	兵庫 にしのみや苑 介護課長 木村 圭志	岡山 健生園 施設長 竹永 徹
			A-4	食について考える	鳥根 長命園 施設長 須山 俊二	長野 ゆい 看護主任 伊坪 陽子
B (在宅ケア)	在宅生活を支える施設の役割を考える	在宅生活を支えるショートステイやデイサービスの役割や課題、地域のネットワーク、医療ニーズの高い利用者への対応についての実践事例を持ち寄り学び合ひしよう。 ・ショートステイ、デイサービス特有の課題、難しさ、工夫した取り組み ・認知症高齢者のショートステイ、デイサービスでの支援の工夫 ・緊急ショート受け入れ(高齢者虐待での対応等) ・ショートステイの洗濯、荷物点検、服薬の管理の課題と工夫 ・デイサービスの役割と求められるニーズの変化 ・デイサービスでのレクリエーション活動等の工夫 ・在宅介護を支える上での家族支援の取り組み、世帯単位での支援のあり方 ・アセスメントとリスク管理、情報共有 ・医療的ケアが必要な利用者の対応と課題 ・チームケア、多職種協働、他機関との連携による支援	B-1	短期入所の取り組みを中心に	兵庫 甲斐園 副施設長 川内 光子	新潟 穂波の里 施設長 井上 悦子
			B-2	通所の取り組みを中心に	東京 永福ふれあいの家 所長 菱木 幸治	兵庫 あしや喜楽苑 部長 皆貝 泰代
			B-3	医療ニーズへの対応と課題	長崎 青葉苑 施設長 榎本 哲子	北海道 かりぶ、あつべつ 施設長 田名部 みどり
C (ケアハウス等)	有料ホーム・ケアハウス、サ高住など多様な住まいの機能と役割を考える	高齢者の住まいの普及が促進され、各地で多様な住まいが建設されています。サービス付き高齢者住宅、有料老人ホーム(住居型、介護付き)、グループリビングなど、これらが「老後の住まいと介護」の保障になり得るのか、また安心の住まい「終の棲家」になり得るのか、事例を持ち寄り、現状と課題を議論しましょう。 ・多様な住まいの機能と役割、運営の問題・課題 ・中重度者への対応 ・医療的ケアが必要な利用者の対応と課題 ・地域でのネットワークと連携	C	ケアハウス・有料老人ホームなど	愛知 ケアハウスすこやか 施設長 阿藤 広志	福岡 ケアハウスらいふ戸畑 施設長 内田 義則

D (養護)	養護老人ホームの役割と課題を考える	<p>養護老人ホームの役割と今後の運営について、現状課題や固有の問題について論議しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養護老人ホームのあり方、利用者への生活支援</li> <li>・精神疾患等のある利用者への支援</li> <li>・「外部利用型」の導入など制度転換の実態と対応</li> <li>・ショートステイの取り組み</li> <li>・自治体との連携、低所得者・社会適応困難高齢者の実態</li> </ul>	D	養護老人ホーム	大阪 城東養護老人ホーム 副施設長 横山 道夫	岡山 岡山市会陽の里 施設長 藤岡 理恵
E (地域)	地域で暮らし続けることを支える	<p><b>(訪問介護)</b></p> <p>度重なる制度改定に、利用者・家族の在宅生活は、大きな影響を受けています。看取り、同居の認知症高齢者を支える緊密なネットワークの構築も急務です。事例を通じて、訪問介護の専門性を語り合い、問題を共有しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス提供責任者の主張…「やりがいはあるけれど、何とかしてよ！この現実」</li> <li>・生活援助の専門性…「その人らしさを支え、今日も明日も生活できる」を支える</li> <li>・ヘルパーの担う「医療行為」…研修制度、事故のリスクなど考えておきたい事</li> <li>・この家で最期まで…在宅での看取りの実践</li> <li>・介護報酬改定における訪問介護現場での影響と支援</li> </ul> <p><b>(グループホーム)</b></p> <p>地域密着型サービスとして、地域の中におけるグループホームのあり方、重度化や看取りの対応等、ケアの質が問われています。グループホームならではのケアや課題を持ち寄り議論しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホームでのケアのあり方、「看取り」家庭復帰などの実践</li> <li>・グループホームの役割、地域の関わり、連携</li> <li>・グループホームでの認知症ケアの実践</li> </ul> <p><b>(小規模多機能施設)</b></p> <p>住み慣れた地域で暮らし続けるため「通い」訪問「泊まり」のサービスとして創設されましたが、報酬上の問題や小規模多機能としての役割など、メリットにも多くの問題が浮かび上がっています。在宅生活を支える取り組みや課題について、実践事例を通して議論しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模多機能施設の役割と地域との連携</li> <li>・認知症になっても地域で暮らせるための施設の役割</li> <li>・医療的ケアが必要な利用者の対応と課題</li> </ul> <p><b>(居宅介護支援・地域包括支援・在宅介護支援センター・特養相談部門)</b></p> <p>高齢者は、地域で暮らし続ける中で、多くの生活問題を抱えます。安心して暮らすことができる地域づくり、コミュニティケアについて、また市町村独自の制度など、その人らしい生活が支援できる地域包括ケアの姿について、実践例や課題を持ち寄り議論しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアの新たな役割と課題</li> <li>・権利擁護について(虐待防止・早期発見・成年後見制度の活動報告)</li> <li>・行政の連携と地域ケア会議について</li> <li>・事業所の運営とケアマネジャーの「質の向上」への取り組みについて</li> <li>・多問題家族や一人暮らし、老老介護など困難事例への取り組み</li> <li>・在宅における看取りの取り組み</li> <li>・障書のある家族支援の取り組み</li> </ul>	E-1 E-2 E-3 E-4	<p>在宅を支えるホームヘルプサービス</p> <p>グループホームケア</p> <p>小規模多機能施設</p> <p>地域づくり、コミュニティケア・在宅介護で困難(重度化等)な事例の対応</p>	<p>広島 くすの木苑 地域主任補佐 福原 紀恵</p> <p>京都 生活総合支援センター姉小路 施設長 宮本 武史</p> <p>東京 すこやか福祉会 介護事業部副部長 寺田 慎</p> <p>京都 七野会 事業担当常務 橋本 信夫</p> <p>兵庫 喜楽苑 施設長 小林 浩司</p> <p>京都 綾部東部在宅介護支援センター センター長 今中 智子</p>	<p>茨城 ヘルパーステーションジョンけやき 所長 早瀬 努</p> <p>島根 ひまわり園 施設長 常陸 実</p> <p>京都 七野会 事業担当常務 橋本 信夫</p> <p>京都 綾部東部在宅介護支援センター センター長 今中 智子</p>

<p><b>F</b> <b>(安心安全)</b></p>	<p><b>安心・安全な生活を考 える</b></p>	<p>日常生活のなかには、多くのリスクが存在します。リスクへの対応をどのように捉えるかで、利用者の生活の有り様が変わることがあります。事故予防の取り組みや体制づくり、研修や学習活動など各施設の実践を持ち寄り議論しましょう。東日本大震災を教訓に、明らかになつた課題についても考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生した事故から学んだこと、再発防止、改善の工夫</li> <li>・身体拘束防止、虐待防止の取り組みと課題</li> <li>・オンパズマンや第三者機関活動の実例</li> <li>・その人らしさ、自由、プライバシーを守るケアの実践</li> <li>・事故防止の取り組みや体制、家族との連携・信頼関係づくり</li> <li>・事故対策のマニュアルとその活かし方(ヒヤリ・ハットの活用)</li> <li>・高齢者の生活とリスクマネジメントについて</li> <li>・震災の教訓から防災計画等に活かしたこと</li> </ul>	<p><b>F</b> <b>安心・安全な生活</b></p>	<p>福島 はなしのぶ、 ケアワーカー長 東条 悠一郎</p>	<p>福岡 いきいき八田 統括部長 溝口 孝一</p>
<p><b>G</b> <b>(職場作り)</b></p>	<p><b>誇りと自信を持ち働き がい、やりがいのある 職場づくりを考える</b></p>	<p>職員が誇りと自信を持って元気に働くことは、職場の大きな目標です。そのような職場づくりをどのように進めるか、取り組みの事例などを持ち寄り、課題や問題解決のヒントを考えましょう。新しい8Kが実感できる職場づくりについて話し合いましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織の活性化につながる取り組み</li> <li>・自分の考えや意見を本音でぶつけあい、職場の問題に取り組んだ事例</li> <li>・職場のストレスマネジメントやメンタルヘルスについて</li> <li>・管理職や上司、他職種とのコミュニケーションについて</li> <li>・研修制度、職員育成の工夫や悩みなど</li> <li>・チームワークや協力・連携への課題など</li> <li>・8K(希望・輝き、絆、きづき、きらめき、感謝、感激、感動)を感じた瞬間</li> <li>・介護キャリア登位制度がもたらすこと</li> </ul>	<p><b>G</b> <b>職場作り</b></p>	<p>大阪 いのこの里 副施設長 吉川 幸志</p>	<p>山形 とかみ共生苑 施設長 横山 雄治</p>
<p><b>H</b> <b>(事務)</b></p>	<p><b>福祉施設における事 務の役割を考える</b></p>	<p>事業の多様化、制度改定、厳しい経営環境のなか、「業務の要し」としての役割がますます重要になっていきます。また、行政や地域との関係づくりの上でもその能力を求められています。事務部門の役割についての論議を深めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉施設における事務部門の役割、他部門との連携の工夫</li> <li>・事務、経理、総務業務の効率化、経営データの活用</li> <li>・事務部門からみた介護保険制度の問題</li> <li>・施設の民主的運営の課題、各種委員会の事務局など運営への参加</li> <li>・全職員参加の経営、処遇改善に向けた取り組みなど</li> <li>・情報管理の工夫</li> <li>・守秘義務と情報公開の課題</li> </ul>	<p><b>H</b> <b>事務の役割を考える</b></p>	<p>大阪 柳ノ木荘 施設長 弟子丸 孝子</p>	<p>千葉 ショートステイ五香 施設長 伊藤 裕之</p>
<p><b>I</b> <b>(家族支援)</b></p>	<p><b>家族介護者を支える</b></p>	<p>介護保険は「介護の社会化」をうたっていますが、依然として家族介護に頼る実状があります。在宅介護と施設介護の費用や介護負担の違いなど課題は山積していることに加え、在宅介護者の4人に1人はうつ傾向がみられる。心身の疲労を抱えているなどの報告もあり、介護者支援は重要課題といえます。利用者を支えるために、利用者ご本人のみならず、家族等の介護者を対象とした援助技術や支援体制、介護者同士の支援等ネットワークの構築、地域のインフォーマルな共同組織などの取り組みや課題を持ち寄り考えていきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族会活動の現状と課題</li> <li>・家族とのケアパートナーシップ</li> <li>・家族等介護者への支援と課題</li> <li>・介護者のネットワークづくりの現状と課題</li> <li>・地域のインフォーマルな共同組織活動</li> <li>・家族介護の家族の本音とその支援</li> </ul>	<p><b>I</b> <b>家族介護者を支える</b></p>	<p>石川 なんぶやすらぎホーム 施設長 坂口 朋美</p>	<p>東京 白十字ホーム 施設長 西岡 修</p>
<p><b>J</b> <b>(入門講座)</b> 9時～12時</p>	<p><b>学生さん向け 入門講座</b></p>	<p>高齢者施設での仕事は、お年寄りのお世話をすることだけではありません。入居者・利用者主体の取り組みや事業内容を、現場職員、利用者・家族のみならずご紹介します。みんなととも歩み、ともに楽しみ、ともに生きる、福祉職場の新しい8Kを一緒に考え、学び合いましょう。</p>	<p><b>J</b> <b>地域包括支援センターの事業内容</b></p>	<p>・利用者の家族から見た高齢者の暮らしや、高齢者施設への思い</p> <p>・デイサービスを利用されている方の生活や施設での取り組み</p> <p>・利用者自治会の取り組みと職員の支援</p>	<p>入門講座は午前中のみ開講します。 昼食休憩をはさんで、午後からは、希望される分科会にご参加いただきます。 望まれる分科会にご参加いただき、(できるだけ事前に希望分科会を決めておいて下さい)</p>



## ～分科会 演題発表のエントリー用紙～

### ☆ 発表エントリー

- 共同研究（発表）をおこなう場合は、代表者のみ1名を下記＜発表者名＞に記入の上、＜発表内容＞に共同研究と明記して下さい。共同研究者の氏名記載は、発表原稿本文へお願いいたします。なお、集会当日に共同研究者とともに参加・発表する際は、参加申込用紙の備考欄にその旨記載して下さい。
- 希望分科会を記載する際は、分散会番号も忘れずにご記入下さい。（例：A-2やG-3など）
- エントリー受付後、分科会によって演題数の大幅な差異が生じた場合は、実行委員会で演題数の調整を行います。希望する分科会から別の分科会へ移っていただくこともございますのであらかじめご了承下さい。
- パソコン持参の可否については、基本的には事務局で用意をしますが、可と返答があった場合に持参のお願いをさせて頂くことがあります。

施設名					施設種別					
施設住所	〒				TEL	(            )				
					FAX	(            )				
					E-mail			@		
発表者氏名					職種					
発表希望分科会 (        -        )	演題									
分散会番号も忘れずに	パワーポイント	使用する	・	使用しない	パソコン持参	可	・	不可		
発表内容(簡潔に)										

### ☆ 提出期限

- 8月31日（土）必着

### ☆ 提出先・問い合わせ先

- FAXにて**本用紙を下記までお送り下さい（表紙不要）。**FAX 06-6878-5738**
- 問い合わせ先  
 現地実行委員会事務局 グループホームたんぽぽ（担当：大谷）  
 TEL 06-6816-3810      FAX 06-6878-5738  
 メールアドレス tanpopo.kobato@gmail.com

## ～PowerPoint を用いての発表についてのお願い～

### 1. 使用機材について

発表に使用する機材はパソコン・プロジェクターとします。パソコン・プロジェクターおよび接続用ケーブルは主催者側で準備致します。(なお、「発表演題募集」応募の際、ノートパソコン持参可とお答えいただいた方には、事務局から個々にお問い合わせする場合がありますのでご了解ください)

### 2. データの事前提出について

あらかじめ、発表データを下記住所に送付いただくこととします。提出はCD-Rにてお願い致します(メール添付はご遠慮ください)。なお、提出の際にはパワーポイントのバージョンを必ずご明記下さい。また、動画の使用は不可です。CD-Rと一緒に、プリントアウトをした紙ベース資料を同封して下さい。

また作成の際には、MS明朝、MSゴシック等Windows添付の標準フォントで、写真等を用いる場合は、アクセサリのペイント等で表示される実寸サイズにあらかじめ小さくしたものをご使用いただきますようお願いいたします。

### 3. 発表について

発表時は、各分科会で使用するパソコンのデスクトップにパワーポイントのファイルをコピーしておきますが、操作は各自で責任を持っておこなって下さい。予め動作確認などは主催者側で実施し、トラブルのないように努めますが、基本的には各自で対応して頂く事となります。ご不明な点がございましたら、下記にご連絡をお願い致します。

### 4. 提出期限

11月15日(金) 必着

### 5. 提出先

城東特別養護老人ホーム(担当:畑)

〒536-0001 大阪市城東区古市1-20-17 TEL 06-6931-5190

## ～各期日を守ってご提出下さい～

### 運営にご協力お願いします(.\_.)

- 「演題募集のエントリー」〆切は、8月31日(土)です。

エントリー用紙に必要事項をご記入いただき、グループホームたんぽぽ(担当:大谷)までFAXで送信願います。

FAX番号: 06-6878-5738

- 「発表原稿」の提出〆切は10月1日(火)です。

EメールにてWordファイルを添付の上、グループホームたんぽぽ(担当:大谷)までお送り下さい。

メールアドレス: [tanpopo.kobato@gmail.com](mailto:tanpopo.kobato@gmail.com)

- 「PowerPointデータ」の提出〆切は11月15日(金)です。

データをCDにコピーの上、城東特別養護老人ホーム(担当:畑)までお送り下さい。

送付先: 〒536-0001 大阪市城東区古市1-20-17

# まいにち

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会

京都の地で、社会福祉の今と未来を、学び語りあいました。同時に、第13回職員研究交流集金は京都での開催となりました。京都はもとより近畿圏一同で実行委員会を構成し、全国から多数の皆様のご参加を心からお待ちしております。

京都は、その昔日本の中心として、歴史と伝統に彩られた街。同時に、いつの時代にも進歩と改革にいち早く取り組んできた先駆的な街です。そして今日多くの学問の府をもち教育・研究と科学と実践を結びつける街でもあります。

さて、本研究交流集金は極めて重要な時期の開催と心を新たにしております。格差がますます広がる社会のもとで「税と社会保障の一体改革」が強化されています。本来いまほど社会保障の充実が求められる時がありませんが、生活保護をはじめとした福祉切り捨てが進み、介護保険制度も大改革が予定されています。

そのような中で、国民が求める真の公的介護保障の在り方＝誰もが無理のない負担で尊厳ある人生を送ることのできる介護保障制度を作り上げることが必要です。同時に、福祉現場を支える従事者が専門職としての社会的評価が高まり、希望と誇りと将来の安心が保障される福祉職場となることが求められるものと思えます。京都での開催は2回目となりますが、日々の弛みない豊かな実践から社会福祉の今と未来を見つめ、交流を深め、進歩と改革への新しい一歩となることを願っています。みなさん、京都では是非お会いしましょう。

実行委員長 廣末 利弥(社会福祉法人七野会理事長)

研究交流集会も13回目を迎え、京都での開催は第5回集会から8年ぶり2回目となります。2月に発足した実行委員会は幅広い年齢層で30名を超える体制となりました。

集会テーマや方向性を決める討論では、集会開催時期である2013年12月がどんな時期になるかを想定した上で、「憲法」「生存権」「介護保険制度改定の山場」「社会福祉法人の使命と役割」「福祉従事者の社会的身分・評価の向上」などが問題提起されました。

岡山集会で廣末代表幹事が発言した「8K」(希望・きらめき・つき・絆・感謝・感激・感動・輝き)を広め、福祉の魅力をわちあちあちう場にしたいたいと思っています。

集会事務局長 介山篤(社会福祉法人七野会特別養護老人ホーム原谷こがしの里)

## 21・老福連とは

「21・老福連」の正式名称は「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」です。

1998年「介護保険・全国老人ホーム施設長アンケート」をきっかけにして2001年に設立しました。介護保険が導入される中、真に利用者のための福祉と福祉労働の保障と発展のために「豊かなる実践実践と公的福祉の確立」を目指す動きをすすめています。

## 職員研究交流集会とは

「職員研究交流集会」は、全国で働く仲間が多くの実践報告・研究等を発表し、学び、悩み、語り合いたいという元気を分かち合う場です。

年に一回開催し、京都大会で第13回を迎える事となります。昨年の「岡山大会」では、全国から、469名の参加があり、分科会では147演題の実践報告がありました。

## 第13回職員研究交流集会 IN京都開催！/企画案

第12回岡山大会からバトンを引き継ぎ、今年も近畿・京都での集会です。「京都らしさ」がたっぷり盛り込まれた企画を考えております。たくさん学び、楽しんで下さい！

### 『職員研究交流集会の概要』

[テーマ]人間らしく「生きる」ために、今こそ願ひせようぼんまの社会福祉～高めよう私たちの援助実践 広げよう新しい福祉の8K～

[日時] 平成25年12月7日(土)13:00～17:30(受付12:00～)

<交流会19:00～>

12月8日(日)9:00～16:00

12月9日(月)9:00～12:20

[会場] 全体会 立命館大学(朱雀キャンパス)

分科会 佛教大学(紫野キャンパス)

交流会 京都国際ホテル

[日程] <1日目>全体会

歓迎レレモノー

①21・老福連からの基調報告

②記念講演Ⅰ「認知症を生きる人たちから見た地域包括ケアとは」

講師 名南病院 医師 森 俊夫氏

③パネルディスカッション「私たちの地域包括ケアシステム」

(19時より会場変わって)交流会

<2日目>分科会

10分科会20分散会(予定)日頃の熱い取り組みの報告 議論！

<3日目>全体会

①記念講演Ⅱ「税と社会保障の一体改革と介護保険制度」

講師 立命館大学 教授 唐鎌 直義氏

②記念講演Ⅲ「家族の立場から願う ホンマの介護保険制度を

つくるために」

講師 認知症の人と家族の会 副代表理事 勝田 登志子氏

③閉会式・次回開催予定地より挨拶

京都といえれば学生の街！学生といえれば…学食！？

分科会会場の佛教大学では学生食堂の利用が可能です。

安くて美味しい人気メニューを是非食べておくれやす～。



21・老福連第13回職員研究交流集会 実行委員会事務局<現地実行委員事務局>  
社会福祉法人七野会 特別養護老人ホーム原谷こがしの里(担当:介山篤)

TEL075-463-4888 FAX075-464-8415 E-mail kobushi@nananokai.com

おこしやす京都へ!! 私たちが実行委員です☆

私たちが京都で待ってます!



集會事務局



広報担当



全体会担当



分科会担当



交流会担当



私たちが提案する「福祉の新たな8K」って...?

希望 絆 感謝 感動 輝き 感謝 輝き

これからの輝く未来に希望をのせて ぎづきと絆を大切に いたつも感謝の心を忘れず 感激感動しながら自分らしくきらめいていける福祉を目指していきたい...

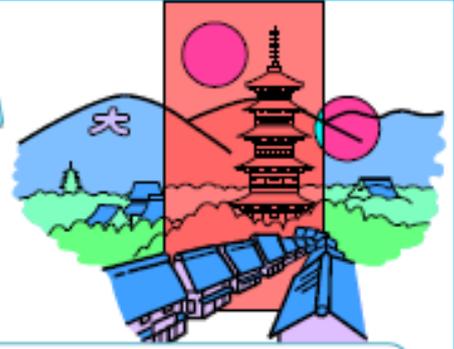


皆さん!是非ここ京都に集まり、熱い仲間たちと一緒に日頃の思いをぶつけたいましょ!そして一緒に福祉を盛り上げましょ!



舞妓さんの歴史  
舞妓さんのルーツは今からおよそ300年前北野天満宮や八坂神社の門前町にあった水茶屋で、お茶やお菓子振舞った女性が始まりだといわれています。始めは「茶屋」の名の通りお茶や団子を出すだけでしたが次第に茶屋の女性達が舞いや歌を披露するようになり人が集まるようになりました。茶屋どうしの集客合戦は次第に熾烈を極めやがて少女にかわいい着物を着せ、舞を躍らせるようになりまし、これが「舞妓」の始まりです。ぜひ京都に来て居んまもんの舞妓さんを見てください。

# もちろんやります！交流会！



全体会で学びを深めた後は、京都の夜をはんぱりと楽しみましょう。  
皆様のご参加を心よりお待ちしております。ちょっとだけ、企画のご紹介…

その巻

京都女子大学の学生さんで構成し活動されている『京小町』の皆さん。  
京都らしさ、かわいらしさ、はんぱりさ、三拍子そろった彼女たちにオープニングはお任せ！！



その式

テーブル対抗でクイズに挑戦！福祉職の本音に迫ります！1位を当てて生八橋をゲット！？

500	人ぐ	みに
き	き	き
し	だ	



ご当地の地酒、名産品のご持参お待ちしております！！



その巻

後半は、お持ちいただいた各地の地酒や珍味を召し上がっていただき、語り合ってください。京都の夜景を楽しみながらクラブのママもご接待させていただきます。今夜は2次会いらず！？

福祉の8区を分かち合い、明日に繋がる交流会を一緒に作りましょう！



## アクセス



立命館大学朱雀キャンパスへは  
JR・地下鉄「二条」駅、徒歩2分  
 佛教大学紫野キャンパスへは  
 京都市バス  
 205号・206号「循環」  
 101号・102号「金閣寺行」  
 などで「千本北大路」下車、徒歩3分  
 京都国際ホテルへは  
 地下鉄「二条城前」駅、徒歩2分  
 JR・地下鉄「二条」駅、徒歩10分



## 21・老福連 第13回職員研究交流集会 in 京都 ～参加・宿泊等のご案内～

### 【1】お申込方法のご案内

- ① 参加者は申込書に必要事項を記入の上、10月7日(月)までに名鉄観光へFAX又は郵送にてお申込ください。電話による申込はトラブルの原因となりますので、ご遠慮ください。

**お申込締切日：2013年10月7日(月) 厳守願います**

- ② お申込受付後、11月中旬に名鉄観光より、参加確認書(参加券・宿泊案内など)と請求書・振込依頼書をお送りします。
- ③ 請求書をご確認の上、11月27日(水)までに指定の振込口座へお振込ください。  
振込み手数料については、お客様ご負担とさせていただきます。

### 【2】21・老福連職員研究交流集会 参加費のご案内

参加期間	1日間	2日間	3日間
金額	6,000円	8,000円	10,000円

### 【3】宿泊のご案内

ご宿泊期間 平成25年12月7日(土)、8日(日) ※1泊朝食サ・税込み

記号	宿泊施設名	宿泊日	部屋タイプ	料金(お一人様)	アクセス
1	京都国際ホテル	12/7(土)	A シングル	16,000円	地下鉄二条城前駅徒歩2分 JR二条駅徒歩10分 交流会 会場ホテル
			B ツイン	12,500円	
		12/8(日)	A シングル	14,000円	
			B ツイン	10,500円	
2	三井ガーデンホテル京都	12/7(土)	B ツイン	12,000円	地下鉄四条駅徒歩5分 阪急烏丸駅徒歩5分
		12/8(日)	B ツイン	10,000円	
3	アパホテル京都駅堀川通	12/7(土)	A シングル	12,000円	JR京都駅徒歩7分
		12/8(日)	A シングル	10,000円	
4	アパホテル京都祇園	12/7(土)	A シングル	12,500円	阪急河原町駅徒歩7分 京阪祇園四条駅徒歩4分
			B ツイン	11,000円	
		12/8(日)	A シングル	11,500円	
			B ツイン	10,500円	
5	東山閣	12/7(土)	B ツイン	11,500円	京阪七条駅徒歩10分 JR京都駅タクシー7分
		12/8(日)	B ツイン	10,000円	
6	アパホテル京都駅前	12/7(土)	B ツイン	10,500円	JR京都駅徒歩5分
			A シングル	10,000円	
		12/8(日)	B ツイン	8,000円	
7	ホテル花園会館	両日とも	A シングル	10,500円	JR花園駅徒歩7分 研究集会会場まで15分
			B ツイン	9,500円	
8	京都第一ホテル	両日とも	A シングル	10,000円	JR京都駅徒歩6分

★宿泊申込は番号と客室タイプ記号をご記入ください。(例) 京都国際ホテル・シングル希望は:1-Aと記入。

★TWNで同室希望者の方は、参加申込書該当欄にご記入ください。TWNは2名利用の1名分料金表示です。

★ホテルは先着順です。第一・第二希望共、埋まった際には記表以外のホテルもご案内させていただきます。

#### 【4】交流会のご案内

期日：平成25年12月7日(土) 時間：19時00分～

会場：京都国際ホテル 2F：二条の間

交流会費：9,000円

#### 【5】お弁当のご案内

希望販売にて注文をうけたまわります。ご希望の方は、申込書にご記入ください。

弁当配布日：12月8日(日) 昼食(お弁当) お1人1,000円

#### 【6】変更・取消についてのご案内

お客様のご都合で予約を取消された場合、下記の取消料が必要となります。変更・取消の場合は、必ずFAX又は郵送でご連絡ください。

また、変更・取消後の返金については、本会終了後速やかに行ないますので予めご了承ください。

取 消 日	参加費	宿泊取消料	弁当取消料	懇親会取消料
申込後	100%	無料	無料	無料
21日目にあたる日以前の解除	100%	無料	無料	無料
20日目にあたる日以降の解除	100%	無料	無料	無料
7日目にあたる日以降の解除	100%	20%	無料	無料
旅行開始日前日の解除	100%	50%	50%	100%
旅行開始日の当日の解除	100%	100%	100%	100%
旅行開始後の解除又は無連絡不参加	100%	100%	100%	100%

★上記取消料ならびに郵送料の実費を差し引いて、大会終了後に精算致します。

★変更・取消などによるご精算は、大会終了後に指定の口座へお振込致します。

(事務手続き上、多少お時間を頂戴しますので、予めご了承下さい)

★大会当日のご返金は事務手続き上できません。

#### 【7】申込・お問い合わせ先

名鉄観光サービス(株)なんば支店 担当：井上・和平・和瀬田

【営業時間：月～金曜日 9:00～18:00、土・日・祝日休み】

〒542-0076 大阪市中央区難波 4-7-14 難波阪神ビル 11F

TEL:06-6645-8080 FAX:06-6645-8090

『21・老福連 第13回職員研究交流集会』参加申込書

名鉄観光サービス(株)なんば支店 担当:和瀬田・和平・井上行 FAX:06-6645-8090

※ 送信後にご面倒でも確認のお電話をお願い致します。 TEL:06-6645-8080

申込日:平成25年 月 日

送信先

県名	県	施設名	
住所	〒	担当者氏名	電話 ( ) ( ) FAX ( ) ( )

No	フリガナ 参加者氏名	性別	職名	参加費			交流会 12/7 (土) 9,000円	宿泊希望日 ※ホテル記号を記入してください			弁当 12/8 (日) 1,000円	分科会 12/8(日)			備考 (ツイン/同 泊者、禁 煙・喫煙 等)	名簿への 記載可否 ※記入漏れ の場合は可 能と判断さ せて頂きま す。
				1日間 6,000円	2日間 8,000円	3日間 10,000円		12/7 (土)	12/8 (日)	12/9 (月)		12/7 (土)	12/8 (日)	第1希望		
例	キョウト タロウ 京都 太郎	男	施設長	○	○	○	○	1-B	1-B	○	E-2	E-3	座長	京都一郎 禁煙	X	
1																
2																
3																
4																
お申込金額計算欄				参加費計	交流会費計	宿泊費	12/7泊計	12/8泊計	弁当代計	総合計						

<注意事項> ※ツインルームご希望の場合は必ず同室者名をご記入下さい。 ※郵送の場合は必ずお控えをおとりください。 ※4名以上の場合はコピーをしてお使い下さい。

<返金先口座記入欄> (返金の際、手数料は差し引いて下記口座にて精算いたします。口座名義はカタカナにて記入下さい) **申込締切日:10月7日(月)**

金融機関名	銀行	支店名	支店	口座番号	普通・当座	口座名義
-------	----	-----	----	------	-------	------

※ 手話通訳・要約筆記が必要な場合は「現地実行委員会事務局」までご連絡をお願い致します。

※ 当申込書に記載された個人情報、運営管理の目的のために使用いたします。